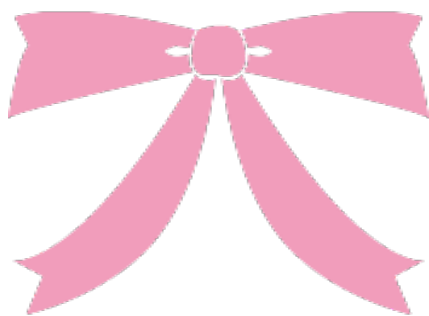


いのちを  
大切にする  
マニュアル



～自分のいのちは自分で守ろう～

平安女学院中学校高等学校

# 危機発生時の生徒の行動

## 【校内にいる場合】

### 地震

- ・落下物注意
- ・机の下に入る
- ・カバン等で頭を守る

### 火災

- ・ハンカチ, タオルで口を押さえ身をかがめてグラウンドに移動する。

### 雷・竜巻・洪水

- ・グラウンドにいる時には安全な校舎内に避難する。
- ・洪水のときは2階以上に避難する。

### 不審者

- ・カギのかかる部屋に隠れ、指示が出るまで静かに身を潜める。

生徒が校内にいる時に危機が起こった場合は、必ず放送で指示を行います。

落ち着いて放送を聞きましょう。

## 【登下校中の場合】

学校に近い場合は学校へ、自宅に近い場合は自宅へ向かう。

公共交通機関が止まって、帰りたくても帰れないときは、近くの広域避難所や駅で待機して指示に従いましょう。

災害時帰宅支援ステーション（コンビニやガソリンスタンドなどの帰宅困難者支援施設）も活用できます。

## 【在宅時】学校からの指示に従う。

在宅時に学校付近に危機（テロ・事件等）が発生した時には休校となる場合があります。無理に登校せずに学校からの指示を確認してください。

※ 学校からの指示

- ・「BLEND」、平安女学院中高のホームページ

## 【在校時の帰宅の方法】

在校中に危機が発生した場合、状況によっては帰宅させるか学校待機かを判断し、指示します。

### 帰宅方法

- ① 通常交通機関が運休した場合
  - ・ 徒歩での帰宅（日中のみ）
  - ・ 保護者の迎えによる帰宅
  - ・ 交通機関が再開したルートから帰宅させる。
  
- ② 帰宅中に帰宅困難になった場合
  - ・ 学校に引き返す。
  - ・ 途中にある避難所に避難する。  
（事前に各自調べておくこと）

**※通常の通学路に限らず安全な経路で帰宅する。**

# 安否の確認について

地震など大災害発生時は、安否確認などの電話が急激に増加し、電話がつながりにくい状況になります。その場合には、以下の伝言板サービスを活用しましょう。

## □災害伝言ダイヤル（171）

NTT 東日本・NTT 西日本提供

被災地の方などの電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を、録音・再生できるボイスメール。一般電話、公衆電話、携帯からも利用できる。提供開始時にはテレビ、ラジオ、NTTのホームページなどでお知らせされる。「171」に電話をかけて、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行う。

## □災害用伝言板（web171）

NTT 東日本・NTT 西日本提供

音声データではなく文字（1件あたり100字）で伝言を残すことができる。インターネットで <https://www.web171.jp/> にアクセスして利用する。

## □災害用伝言板（携帯用）

各携帯電話会社提供

自分の安否を文字や音声で登録することができる。他社携帯からの確認の方法やアプリのダウンロードについて事前に確認が必要。

いざという時に備えて、大切な人の連絡先（携帯電話番号や職場）を覚えていない人は、メモしておきましょう。

# 学校の安全管理体制

- ・ 訓練の実施

  - 避難訓練（生徒，教職員）

  - 救急救命講習（生徒，教職員）

巻末に資料あり

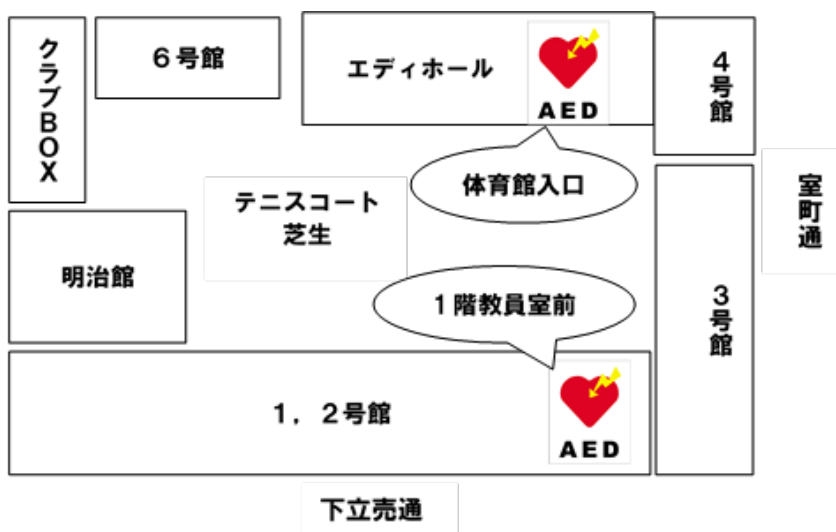
※別途、各種講習会の案内をし、参加を呼びかけています。

- ・ 守衛の配置

- ・ 登下校指導

- ・ カウンセラーの配置

- ・ AED の設置



# 備品について

平安女学院中学校高等学校では、備品として以下のものを常備しています。

## 1. 救急用品

- ・ 救急バッグ×2, 担架×2, AED 2台

## 2. 装備品

- ・ ヘルメット×30
- ・ 懐中電灯×10
- ・ 多機能防災ラジオ×2
- ・ ハンド型メガホン×2
- ・ 救急シート×30

## 3. 防災キット（生徒一人に1セット）

- ・ 飲料水ペットボトル（500ml）,
- ・ カロリーメイト 1箱
- ・ マスク
- ・ 軍手

## 4. 防犯用品

- ・ さすまた×2



# 危機が発生した時には

